

平成29年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.129

H30. 2. 1 「留学生アレックス君の送別会」

昨年8月から留学生として2年次に在籍していたアレックス君が、留学期間を無事終え、故郷ニューハンプシャー州の自宅に戻ることになりました。

年次集会では生徒が中心となり送別会を開きました。代表生徒が、これまでの思い出やアレックス君へのエールを温かな言葉で英語を交え贈りました。それに対して、アレックス君は「最初は不安と緊張があったが、すぐにみんなと仲良くでき、本当に楽しい時間を過ごすことができました。部活動でも沢山の仲間と貴重な体験をすることができました。」と流暢な日本語で、在校生に感謝の言葉を返しました。



国籍は違っても、同じ年代の子どもたちが様々な体験を通して心を通じ合わる光景は、これからの明るい未来を予感させます。アレックス君は、今後も親日派として、帰国後も元気に活躍してくれることでしょう。

本校では「国際交流・国際理解・国際貢献」活動を今後も推進していきますので、保護者の皆様のご理解の程、よろしくお願いいたします。

All for one, and one for all. No.130

*エイリョウ・アラカルト 「2年次、決起集会！」

2年次生の道内外国公立大学希望者を対象に、お昼休みを活用して集会が開かれました。まもなく3年次を迎える現2年次生にとって、生活習慣を「学習モード」に切り替えるには今が一番効果的な時期とも言えます。新年度を迎えれば、学校行事や部活動が始まり、じっくり考えたり、生活習慣を立て直す時間もなかなかとれません。

集会では、自分の進路希望を最後まで維持することの意味、その力をつけるために今やるべきこと、そしてそれを実現するための計画書の作り方など、生徒の夢と可能性を広げる具体的なアドバイスばかり・・・100名を越える参加者は皆真剣な表情で聞き入っていました。



配付されたプリントには、今日にでも取り組まなければならない計画書類が満載。これを見ただけでも「やる気」が漲ります。2年次生の顔つきが変わるのも、そう先のことではないような気がします。

***エイリョウ・アラカルト 「1年次生が堂々の奨励賞！」**

2月2日から開催された「道展U21」も、今回がちょうど10回目となります。美術を愛する高校生の作品が全道から774点出品されました。本校からも8名の生徒が出品（8作品）し、1年次生の増田 絢子さんが見事「奨励賞」に輝きました。

美術部にとって最も大きな作品展は秋に行われる高文連です。「素晴らしい作品からは、完成に至るまでの作者の苦悩や表現へのエネルギー、そして何よりも構想から制作、完成に至るまでの『長い時間』が感じられるもの」とは顧問の言ですが、是非そんな作品を高文連までに書きあげて欲しい願っています。



H30. 2. 6 「1年次進路講演会」

次のステップを間近に控え、入学から1年が経過した在校生が「進路講演会」に臨みました。この講演は、進路目標をより具体的なものにしていくためのプロセスとして、上級学校の理解をより深めることがねらいです。



学部・学科の説明、自分の興味関心とのマッチング、職業との連動など、将来を見据えながら、最も適した上級学校を選択するための基礎知識を学びます。

株式会社リクルートから齊藤 恵理子氏を講師にお招きし、現存する学部学科やその内容について、わかりやすくご説明をいただきました。これまで漠然としていた上級学校の現状がより鮮明になることにより、生徒たちの学習意

欲もかき立てられるはずです。

もう一つの効果的方策は、ワークシートを併用した講演になっていることです。単に話を聞くだけでなく、自己理解に基づきながら学部学科を考えていく取組により、自己の将来像が焦点化されていきます。

2年次を迎える頃には、個々の進路希望実現に向け、計画的・継続的な学習習慣を身につけていることを期待したいです。

